

## 緩和ケアチームセルフチェックプログラムを4回実施した施設の表彰およびアンケート結果

この度、緩和ケアチーム自施設評価 WPG では、緩和ケアチームセルフチェックプログラムを通じて緩和ケアチーム活動の改善に継続的に取り組んでいる施設を表彰するとともに、対象施設からアンケート形式で本プログラムに対するご意見をいただきました。緩和ケアチームの改善に取り組む皆様に今後の活動のご参考にしていただくとともに、今後の本セルフチェックプログラムの改善に役立ててまいります。

---

### 緩和ケアチームセルフチェックプログラムを4回実施された施設一覧

---

※施設名の公開をご承諾いただいた施設様のみ掲載させていただいております（50音順）

紀南病院

神戸大学医学部附属病院

千葉県がんセンター

株式会社麻生 飯塚病院

公立八女総合病院

長浜赤十字病院

京都第一赤十字病院

滋賀県立総合病院

名古屋大学医学部附属病院

倉敷中央病院

市立旭川病院

福井大学医学部附属病院

久留米大学病院

市立豊中病院

三重大学医学部附属病院

---

### 緩和ケアチームセルフチェックプログラムを4回実施された施設へのアンケート項目

---

1. 本プログラムの実施プロセスを振り返り、セルフチェックを導入して良かった点
2. 本プログラムの実施プロセスを振り返り、セルフチェックを継続して良かった点
3. 本プログラムを継続していく上で、工夫された点
4. 本プログラムについて改善が必要だと感じられた点や、お気づきの点

## アンケート結果

### 1. 本プログラムの実施プロセスを振り返り、セルフチェックを導入して良かった点

- ①チームの活動について他職種で話し合う機会となり、チームの現状認識（評価）を統一することができた。
- ②啓発活動・紹介方法の改善など新しい取り組みのきっかけとなった。
- ③チームメンバーが、それぞれの専門職としての臨床実践内容、掌握部署の特性と実践内容、問題解決能力などをチーム内で共有することができた。
- ④活動評価を多角的に行うことができた。また、多職種からなる複数のチームメンバーがそれぞれの視点で評価することができたのが良かった。
- ⑤院内幹部に対して、計画した内容を文章にして提出することで、活動内容を院内で理解してもらうことに活用できた。

### 2. 本プログラムの実施プロセスを振り返り、セルフチェックを継続して良かった点

- ①年に一度、決まった時期に自分たちの活動を振り返る機会ができ、翌年の活動目標を毎年計画できる点が良かった。
- ②一年ごとに問題点・課題点や、評価し達成された部分が可視化され、PCTが成長していく流れが把握できた。
- ③単年度で解決にいたらなかった案件を複数年にわたり検討・取り組みができた。
- ④計画するだけで終わりがちな案件を、次年度のセルフチェックでの振り返りを念頭におくことで、計画するだけで終わらせず、実施と振り返りを継続することができた。
- ⑤自分たちの活動を振り返り、毎年、評価することで、成長記録や改善すべき点がみえてきた。

### 3. 本プログラムを継続していく上で、工夫された点

- ①すでにできているからよいとするだけではなく、どのようにできているのか、それでよいのか、もっと違う工夫点があるかなどを、コアメンバーだけでなく拡大メンバーも加えて検討を進めた。
- ②チームメンバーは、患者・家族への支援、プライマリーチームへの教育的関わり等で多忙であるため、緩和ケアセンタージェネラルマネジャーが実施責任者かつ事務担当者を担い、プログラムのマネジメントを行った。
- ③リーダーが、メンバーにリマインドメールを送り、年間計画の実施を促した。運用全般（学会への報告期日や資料のメール配信など）は、ドクターセクレタリーの方の力をかりた。

### 4. 本プログラムについて改善が必要だと感じられた点や、お気づきの点

- ① 全国統一のプログラムではなく、チーム形成の段階(初期→維持期等)によって内容が変わるとよい。
- ②セルフチェックを行う時期を年度末あたりにしていただくと、本プログラムで抽出した課題を次年度の改善活動計画に落とし込めるのでより利用価値が高まるのではないかと感じる。
- ③地域格差、組織格差はまだまだ大きいと感じる。既に緩和ケアチーム登録がなされ、人員やシステムの基盤が整ったチームを育成しつつけることも必要だが、適切な緩和ケアを提供できるチームを増やしていけるような取り組みがないだろうかを感じる。本プログラムの目的、ターゲット、費用対効果、持続可能性も視野に検討していくべきであろう。